西村証券 企業調査速報

2025/04/21

[金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第26号：加入協会…日本証券業協会]

サムコ（コード 6387）

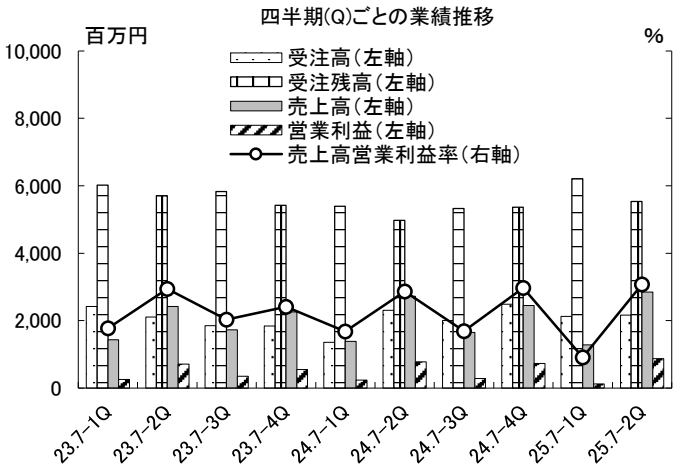
◆各決算期の中間期業績推移(非連結)

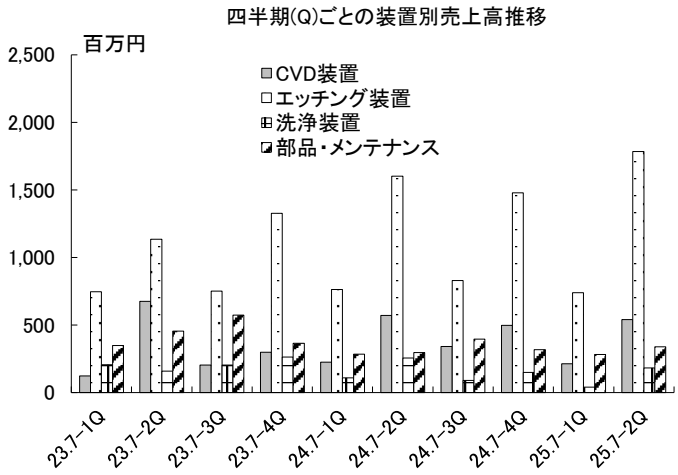
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.7	2,911	523	47.5	0.0	▲94	▲3	▲244	2,644
23.7	3,848	964	87.2	0.0	▲1,068	▲64	▲303	2,481
24.7	4,105	1,012	93.0	0.0	722	▲42	▲382	3,681
25.7	4,121	990	88.9	0.0	▲110	▲395	▲382	3,748

◆通期業績推移(非連結)（25.7 予は会社側発表値）

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.7	6,401	1,371	131.1	35.0	1,181	▲214	▲64	3,919
23.7	7,830	1,858	170.1	45.0	▲189	▲75	▲325	3,374
24.7	8,203	2,017	183.3	45.0	1,642	▲292	▲103	4,637
25.7予	9,500	2,220	190.5	45.0	－	－	－	－

（CF＝ｷｬｯｼｭ・ﾌﾛｰ。現金及び現金同等物は期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円）



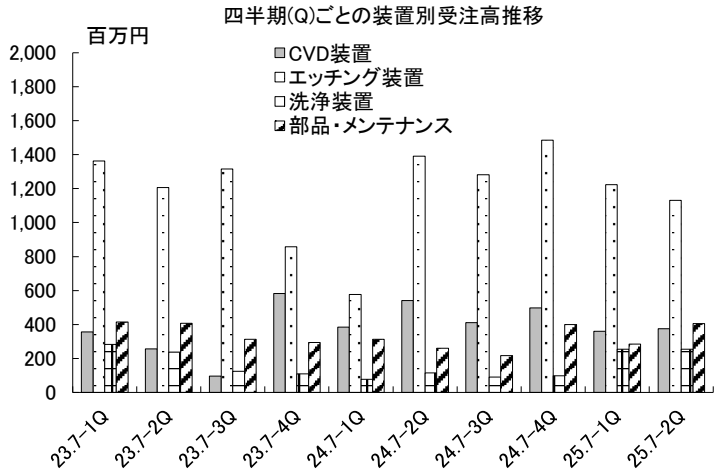


25 年 7 月期中間期の業績概況…25 年 7 月期の中間期（24 年 8 月～25 年 1 月）は、四半期（3 カ月）ごとの動きで第 1 四半期（24 年 8～10 月）に業績の落ち込みが大きかったことから、売上高は前年同期から微増となり、販管費増などによって営業利益は約 2%減少した。

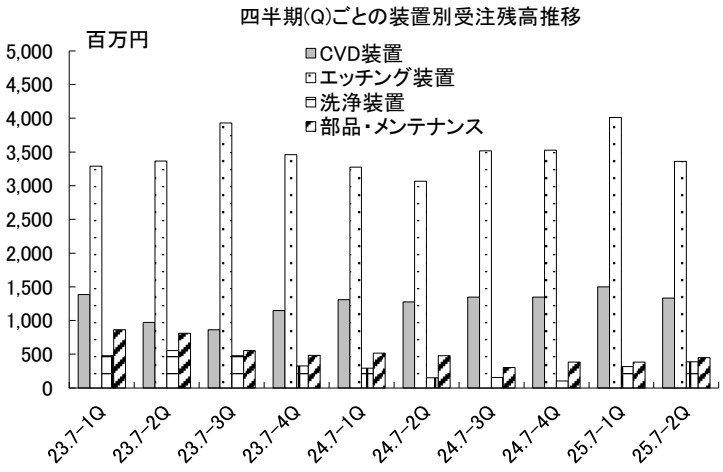
当期の業績は、売上高 41 億 2,100 万円（前年同期比 0.4%増）、営業利益 9 億 9,000 万円（同 2.2%減）、経常利益 10 億 1,100 万円（同 5.0%減）、中間純利益 7 億 1,400 万円（同 4.4%減）となった。24 年 9 月 11 日時点での期初予想値（売上高 43 億円、営業利益 9 億 6,000 万円、経常利益 9 億 7,000 万円、中間純利益 6 億 6,000 万円）に対し、売上高では及ばなかったが、販売価格の値引き抑制や操業度向上などにより、売上総利益率が 51.1%（前年同期は 50.0%。期初予想は 48.6%）に上昇。各利益とも期初予想値を上回った。また、四半期ごとにみると、第 1 四半期は売上高 12 億 7,600 万円（同 7.5%減）、営業利益 1 億 1,600 万円（同 49.9%減）と減収減益になったものの、第 2 四半期（24 年 11 月～25 年 1 月）には売上高 28 億 4,500 万円（同 4.4%増）、営業利益 8 億 7,400 万円（同 12.1%増）と増収増益になっている。

売上高について、国内・海外に分けると、国内 26 億 6,600 万円（同 4.9%増）、海外 14 億 5,400 万円（同 6.9%減）となり、海外の地域別ではアジア 9 億 7,700 万円（同 15.8%減）、北米 3 億 4,300 万円（同 13.9%減）などとなった。装置別では、CVD 装置 7 億 5,300 万円（同 5.2%減）、

エッチング装置 25 億 2,200 万円（同 6.7%増）、洗浄装置 2 億 2,300 万円（同 39.0%減）、部品・メンテナンス 6 億 2,200 万円（同 7.2%増）に。部品・メンテナンスを除く用途別では、化合物半導体分野 11 億 1,100 万円（同 35.5%減）、シリコン半導体分野 9 億 4,000 万円（同 17.7%増）、電子部品分野 6 億 4,500 万円（同 304.5%増）、ヘルスケア関連分野 8,100 万円（同 251.8%増）、その他 7 億 2,000 万円（同 12.3%減）に。部品・メンテナンスを除く目的別では、生産用 14 億 700 万円（同 6.0%増）、研究開発用 20 億 9,100 万円（同 4.8%減）となった。



当期の受注高は 42 億 9,200 万円（同 17.2%増）、当期末の受注残高は 55 億 3,200 万円（前年同期末比 11.2%増）に。装置別の受注高では、CVD 装置 7 億 3,700 万円（前年同期比 20.3%減）、エッチング装置 23 億 5,500 万円（同 19.7%増）、洗浄装置 5 億 800 万円（同 163.2%増）、部品・メンテナンス 6 億 9,000 万円（同 20.0%増）に。受注残高については、CVD 装置 13 億 3,200 万円（前年同期末比 4.2%増）、エッチング装置 33 億 6,100 万円（同 9.6%増）、洗浄装置 3 億 8,800 万円（同 157.0%増）、部品・メンテナンス 4 億 5,100 万円（同 5.8%減）となった。



装置別では、エッチング装置が伸びた一方、前年同期の大口案件の販売の反動から洗浄装置が減収となった。用途別では、化合物半導体分野においては、通信関連などの光デバイス用途が好調に推移したものの、前年同期をけん引した高周波デバイス用途の大口販売をカバーできず減収に。一方、電子部品分野では高周波フィルター用途での販売において回復の兆しがでてきたほか、量子デバイス用途での販売が増加。シリコン半導体分野においてはシリコンウェハーの欠陥解析用途に加え、シリコンフォトニクス用途（導波路など）の売上も加わって販売が伸びた。

25 年 7 月期の業績見通し…25 年 7 月期の通期業績については、売上高 95 億円（前期比 15.8%増）、営業利益 22 億 2,000 万円（同 10.1%増）、経常利益 22 億 4,000 万円（同 7.2%増）、当期純利益 15 億 3,000 万円（同 3.9%増）の見通しで、24 年 9 月 11 日時点での会社側発表値から変更は無い。1 株当たりの年間配当金は 45 円の予定。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。